

講義科目名称： 精神看護学 I

授業コード： 2230300500

英文科目名称： Psychiatric & Mental Health Nursing I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎谷本千恵、船山健二			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎谷本 千恵 船山 健二</p> <p>【研究室】 312 306</p> <p>【メールアドレス】</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 ○ 【DP2】 ◎ 【DP3】 ○ 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p>
------	---

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>心（精神）の健康と不健康について、バイオサイコソーシャルモデルや精神力動理論、発達理論の見地から理解し、精神保健看護の役割について説明できる。</li> <li>精神保健における第一次予防、第二次予防、第三次予防の概念と看護師の役割について説明できる。</li> <li>ライフサイクルの各期におこりやすい精神保健上の問題について説明できる。</li> <li>ストレス反応・危機理論について理解し、自身のストレスマネジメントについて考察できる。</li> <li>リエゾン精神看護の役割や活動について説明できる。</li> <li>災害時の精神保健医療活動について説明できる。</li> <li>患者の権利擁護と看護倫理について、精神医療の歴史や法制度と関連づけて考察できる。</li> <li>生きる力と強さに着目した援助について説明できる。</li> </ol>
------	---

授業概要	精神保健看護の基礎となる心（精神）に関する概念や理論、権利擁護と倫理について学習する。専門看護分野であるリエゾン看護や災害時の看護に関する基本的な内容について学習する。
------	--

授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li> <p>1 授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：精神保健看護学、心の健康・不健康、精神障害の定義と概念</p> <p>学習内容：精神保健看護学とは、バイオサイコソーシャルモデル、精神疾患の診断基準、ICF、精神障害の一次予防・二次予防・三次予防</p> <p>備考：</p> </li> <li> <p>2 授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：心の機能(1)</p> <p>学習内容：脳科学による心のとらえ方</p> <p>備考：</p> </li> <li> <p>3 授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：精神保健医療福祉の変遷と看護、権利擁護と倫理</p> <p>学習内容：国内外の精神医療の変遷、患者の権利擁護、精神科臨床における看護倫理</p> <p>備考：</p> </li> <li> <p>4 授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：災害時の精神看護、コンサルテーションと連携</p> <p>学習内容：災害による心身への影響、DPAT、リエゾン精神看護、コンサルテーション</p> <p>備考：</p> </li> <li> <p>5 授業内容</p> <p>授業形態：講義形式による対面授業を基本とする</p> <p>学習課題：ストレスと対処</p> <p>学習内容：ストレスとその対処法、危機理論、自殺対策</p> <p>備考：</p> </li> <li> <p>6 授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> </li> </ol>
------	--

	<p>学習課題：心の機能(2)  学習内容：精神力動論、自我と防衛機制  備考：  授業内容  授業形態：対面  学習課題：心の発達と精神保健  学習内容：発達理論、ライフサイクルと精神保健  備考：  8  授業内容  授業形態：対面  学習課題：生きる強さと力に注目した援助  学習内容：リカバリー、ストレンクス、レジリエンス、エンパワーメント、コプロダクション  備考：</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：学習課題に関連するテキストの指定範囲を熟読し、重要な事項や用語についてノートにまとめておくこと。  事後学習：各学習内容について講義内容やテキスト、配布資料をもとに整理し、学習上課題となった知識を自己学習すること。  その他各教員の指示にしたがうこと。</p>
評価方法、評価基準	<p>試験 80%、課題 20%  出席・感想カードの提出をもって出席の確認を行う（未提出の場合は欠席となる）。  なお出席日数が規定に満たない場合は評価対象としない。20分以上の遅刻は欠席扱いとする。</p>
必携図書	<p>岩崎弥生編：新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論/精神保健，第6版，メヂカルフレンド社。  岩崎弥生編：新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護，第6版，メヂカルフレンド社。  岩崎弥生総監修：新体系看護学全書準拠 精神看護学まとめノート，メヂカルフレンド社。</p>
参考図書・資料等	<p>必要時，講義時に参考図書を紹介，資料を配布する。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>担当教員の提示するルールを守って受講してください。その他、必要時に指示する。</p>
教員からのメッセージ	<p>精神看護学の基礎となるメンタルヘルスについて学びます。看護の他領域に広く応用される知識になります。質問や意見を歓迎します。</p>
オフィスアワー	